

(様式)

平成22年度 府立刀根山高等学校 学校評価報告書

府立 刀根山高等学校
校長 梅景 一雄

1 めざす学校像

刀根山高校の4つの教育方針を柱とする 1. 学力の向上を図る 2. 希望進路の実現を図る 3. 行事・部活動の充実を図る 4. 基本的な生活習慣の確立を図る
--

2 本年度の教育目標

3つの重点取り組み 1. 挑戦し、やり遂げよう 毎日のクラブ活動と家庭学習 2. しっかりと充実させよう いつもの授業と学校行事 3. とともに考えよう 身の回りの整頓、美化と学校環境

3 本年度の取組み計画及び自己評価

領域	具体的な取組み計画 (成果指標) [平成22年4月 記入]	取組み状況の自己評価 (中間)	今後 進めたい取組み
(1) 学習指導等	<ul style="list-style-type: none"> メロディチャイムの活用で「ベル着」を進める 授業研修 全教科、年2回実施 さらに研修の進め方を検討 生徒の授業アンケート実施 集計結果を生徒に返す 進路指導の各取り組みの継続 ファインシステム活用などで 3年生の個別相談実施 生徒にニーズに早朝、夏期講習などで応える 学習の場として自習室の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 「ベル着」促進の効果が継続している 6月に第1回を実施し、各教科会でまとめを行った 1学期末から8月に各授業ごとに実施 校内の集計を9月中旬に行い、教科からのコメントを付けて10月に生徒へ返す それぞれ継続中 各学年の夏期講習、3年生向け早朝・放課後講習実施 受講継続者が増える 夏期休暇中(2教室にパーティション設置) 	
(2) 生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導方法に工夫を加えて推進 服装、頭髪、携帯電話の指導方針を統一して進める クラブ活動への参加、継続を呼びかけ家庭学習との両立を考える 学校行事やクラス活動の自主運営促すとともに学習、クラブ活動と並行してできる力を育てる 教育相談を学年、保健室と協力して継続 	<ul style="list-style-type: none"> 集計の区切りを短くして、目標が判りやすくなった 制服の着用の仕方の指導方針を確認 加入率は例年並みの79% 学習とクラブ活動を並行して進める力への働きかけは十分出来ていない 各相談について協力して取り組んでいる 	
(3) 学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営委員会を協議の場として継続 3学年代表が参加する機会を設ける。 学年団会議を年2回に増やし、首席が各学年に参加する 地域、PTAとの取り組み継続 安全管理と職場の環境整理 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営委員会は重点取り組みの進め方の協議の場となっている。学年代表の参加はまだ実施していない 学校教育自己診断(生徒、保護者、教職員)アンケートを行い集計中 1学期に第1回の学年団会議を実施、首席が参加 各学校行事、地域行事や日常の取り組みを継続している 安全点検を実施。体育館の耐震補強工事中の安全対策を実施。休日、終業後の施錠管理の徹底方法を検討中 	
(4) 追加項目	<ul style="list-style-type: none"> 学校環境、学習環境を考えながら学校生活を送る取り組みを継続する。 緑地、裏山(里山)の活用の仕方を広く校内で考える エネルギーの使い方を継続して注意するとともに、身の回り、教室の整理を促す 	<ul style="list-style-type: none"> 環境委員会の活動が継続できているが、広報活動の広がり は不十分 無駄な電気・ガス・水道の使用を控える習慣が定着しつつある 	

4 学校教育自己診断における結果と分析

[平成 年 月 実施分] *実施対象 (教職員 ・ 児童・生徒 ・ 保護者 ・ その他)

5 学校協議会における提言内容

第1回 7月1日 1. 平成21年度の学校評価報告をもとに、どのようなアクションにつながっているか確認 2. 環境(エネルギーの使い方)や、緑地・裏山などの活動の方針の共有は出来ているのか 3. 学校教育自己診断 3年に1度の実施を平成19年以来行う。(生徒、保護者、教職員) 授業アンケートや各アンケートのとり方について意見交換。
--